

BRT等新たなバス交通システム研究部会 研究活動内容（案）

2021年度（2021.7～2022.6）

1. 基本方針

新たな時代の都市を展望するにあたって、新しい技術や理念を取り入れたバス交通は、都市のモビリティの向上に顕著に貢献できるものであり、欠くことのできない重要な都市機能を担うシステムです。

本部会では、バス交通の新たな展開に向けて、基本的かつ総合的な調査・研究及び社会への実装に向けた活動を進めます。

2. 研究部会の活動概要

2-1. 調査研究の推進

(1) 研究テーマ

初年度である今年度は、研究部会が目指す“BRT等新たなバス交通システム”の目標像をまずは議論し、部会員間での共有を図りながら研究を進めます。

今年度の研究テーマは、事務局にて検討した内容を以下のとおり提案します。目標像の方向性を示す「全体論」と、ひとつの要素や技術に着目した「各論」より構成し、当面2年を研究成果まとめの区切りとして、その成果を対外的に公表、または社会実装に向けた提案ツールとしての活用を提案します。

研究テーマ案	I 期		II 期以降	
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度～)	
全体論 BRT等新たなバス交通システムの目標像	<ul style="list-style-type: none"> 都市のバスができること、変えるべきことは何か 先進諸外国の知見 新たな技術等の動向 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自由な発想 研究部会が目指す目標像 	適宜 リバイス	
各論	【テーマ1】候補 都市の幹線軸を担うバス交通のあり方 (定時・速達性に着目して)	<ul style="list-style-type: none"> 定時・速達性の実態と向上に向けた課題 幹線バスが目指す水準 向上の要素技術(IT/FA, 信号制御, 運行管理, 運賃收受等) 	<ul style="list-style-type: none"> 要素技術の要件 ケーススタディ 実現に向けた道筋整理 社会実装に向けた発信方法 	自治体、交通事業者等への提案
	【テーマ2】候補 街の拠点となる新しいバス停の提案 (モデルバス停の実現に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> バス停の実態 街の拠点性を担う機能 モデルの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体やバス会社への提案 モデルバス停整備の賛同者や協力者の募集 モデル設置候補地の抽出 	モデル設置に向けた具体協議
	【テーマ3】			新たな研究テーマの設定

I 期の研究テーマ（案）

(2) セミナー・講習会等の企画・開催

本部会の設立総会を記念し、部会長により講演を行っていただきます。

(3) 提言書、ガイドライン等の発出

当初の研究テーマについて一定の成果が見込まれる場合は、部会内の協議により、I期終了の段階での発出を検討します。

(4) ホームページの作成

本研究部会の活動内容や、都市のバス交通に関するコンテンツを発信する場の1つとして、日本交通計画協会サイト内に、BRT等新たなバス交通システム研究部会のホームページを作成します。

2-3. 都市のバス交通に関する意見交換会の企画・運営

研究部会員以外の関係者と意見交換をする場として、都市のバス交通に携わる研究者や実務担当者等を招聘し、基調講演や意見交換の場を企画・運営します。

企画にあたっては、研究テーマに係る知見を深める内容とし、車両や情報・通信機器のメーカー、自治体、バス事業者に所属する実務担当者などを招聘の候補とします。

以上